



若者おうえん基金

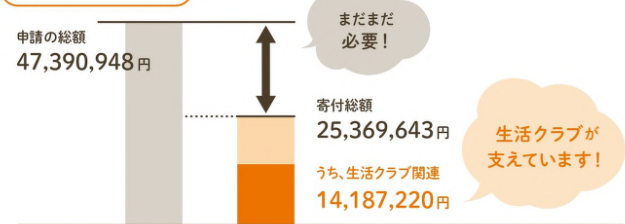
若者おうえん基金がめざすこと

若者おうえん基金は、支援者への助成をつづじて、生きるうえで困難を抱えた子ども・若者たちを支援する基金です。里親や児童養護施設の職員、自立援助ホームの職員など、支援者の支援内容は多岐にわたり、既存の制度では対応しきれないのが実情です。そうした支援者たちの活動に助成金を給付することで、子ども・若者たちが信頼できる大人とともに自立に向けて歩む後押しをしています。

若者への支援が広がっています

生活クラブ組合員が寄付金の多くを支え、毎年多くの若者への支援が実現できています。その一方で2022年度の寄付(約2,500万円)に対し、助成を求めて「若者おうえん基金」に申請する団体の総額が上回っている状況です。引き続き、みなさんからの寄付という、変わらぬ「応援」を必要としています。

2022年度 寄付の実績



〈寄付金の活用の流れ〉



生活困難な若者の支援に活用します

- 【活用例】
- ・進学・就職の支援
 - ・退所後の生活支援
 - ・オンライン環境の整備
 - ・支援者の研修 など

※寄付額の85%を助成に、15%を運営経費に使わせていただきます。

運営組織 首都圏若者サポートネットワークって？

「社会的養護」を受けて育った子ども・若者たちが、社会のなかで自らの力を発揮して生きていくことを応援する民間のネットワークです。生活クラブをはじめ、複数の生協や子ども・若者支援に携わる団体、学識者などが連携して持続的な支援のしくみづくりをすすめています。

「若者おうえん基金」を活用した支援者からの感謝のメッセージ



就職後の若者の生活費と学費を応援しました

社会福祉法人 わかくさ会 児童養護施設「若草寮」
施設長 加藤 雄輔 さん

高校卒業後に就職し、キャリアアップのために専門学校に通っていた子から、「生活費と学費を工面することが大変な状況になった」と相談があり、基金に申請しました。制度は拡充されているものの、退所後の若者のチャレンジを支える制度・支援は十分でないと感じます。その中で基金と出会え、たくさんの方が支援の気持ちを寄せてくれたことに感謝します。

施設紹介 小学校から高校生までを対象に、家族支援や学習支援、進学・就労支援、退所後のアフターサポートなどを行なっています。



頼れる人がいない若者の生活を立て直す資金にできました

特定非営利活動法人 夢舞台 代表理事
自立援助ホーム 夢舞台 ホーム長 新井 秀親 さん

就職と転職を経験したものの、コロナ禍の影響により、生活が困窮してしまった若者の生活を立て直す資金に役立てました。ホームを退居した後の若者から誰にも頼れず相談を受けることが多いです。基金により、こうした悩みを抱えている子たちを笑顔にできて本当にうれしく思います。

施設紹介 15歳から20歳までの子ども・若者が共同生活を通して、社会人として地域で暮らすことができるよう、学習・就労支援、退居後のサポートを行なっています。

2022年度 助成報告

2022年度は8月から11月にかけて、若者おうえん基金の寄付を募りました。助成先の公募、選考の後、自立支援や就職支援、学習支援などを行なう13団体の活動に対して、総額*のうち20,470,000円を助成しました。

※若者おうえん基金の寄付総額は25,369,643円でした。※寄付総額と助成総額との差額は、管理費・クラウドファンディング手数料などによるものです。

助成先団体【併走支援枠】	所在地	助成金(円)
一般社団法人 SSネット 自立援助ホーム エスポワール	神奈川県	1,500,000
養育里親 中村寛志	神奈川県	750,000
社会福祉法人わかくさ会 児童養護施設若草寮	東京都	750,000
一般社団法人コンパスナビ	埼玉県	750,000
一般社団法人アマヤドリ サポート付きシェアハウスアマヤドリ	神奈川県	1,500,000
特例認定NPO法人子ども支援センターつなぐ	神奈川県	1,500,000
特定非営利活動法人 夢舞台 自立援助ホーム 夢舞台	埼玉県	700,000
社会福祉法人スマイルの仲間たち 自立援助ホーム クリの家	埼玉県	750,000

助成先団体【先駆的实践枠】	所在地	助成金(円)
認定特定非営利活動法人みらいの森	東京都	1,170,000
特定非営利活動法人フェアスタートサポート	神奈川県	3,000,000
特定非営利活動法人育て上げネット	東京都	2,700,000
特定非営利活動法人サンカクシャ	東京都	3,000,000
一般社団法人青草の原 れもんハウス	東京都	2,400,000

首都圏若者サポートネットワークの公式WEBサイトではそのほかの助成先団体についてもご紹介しています。

首都圏若者サポートネットワーク

検索



生活クラブ 2030 行動宣言

誰も取り残すことなく、助けあいながら 子ども・若者たちの自立を応援し続けます

「生活クラブ2030行動宣言」の重要目標7では、「貧困と孤立を見過ごさず、自立に向けて寄り添い、支え合い、多様な居場所と働き方をつくります。」としています。生活クラブは若者おうえん基金などをつづじて、社会的養護下の子ども・若者の自立を支援しています。

ぜひ、こちらをご覧ください



ドキュメンタリー映画「REALVOICE」

児童養護施設で育った若者や虐待を受けていたが、保護されなかった若者など、全国の若者たちのリアルな声を集めたドキュメンタリー映画です。監督自身も児童養護施設の出身。

サイトでは本編を無料で公開しています。くわしくはこちらから

